

「あつまれ！びえいピリカキッズ」

★事業の概要★

事業のねらい

制作体験や読書体験を通して、体験活動や読書活動の大切さを学ぶ。また、規則正しい生活習慣を体験する機会とする。

期 日

平成 27 年 2 月 28 日（土）～3 月 1 日（日）

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

美瑛町の小学校 1 年生～3 年生

参加者数：参加募集人数

33 名：30 名

講 師

国立大雪青少年交流の家職員
（株）雪印パーラー大雪店 店長 五十川 寛 氏

日 程

	13:10	13:30	14:00	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	19:00	20:30	21:30
2/28 (土)		受付	開 会 式	仲 間 づ く り ゲ ー ム	読 み 聞 か せ	ひ な 人 形 づ く り	入 室	ゆ ー す び あ た い ム ・ 夕 食	プ ー ル 遊 び	入 浴	就 寝
	7:15	9:30	10:00	11:00	11:30						
3/1 (日)	さ わ や か た い ム ・ 朝 食 ・ 清 掃	読 み 聞 か せ	桜 も ち づ く り	開 会 式							

★プログラム紹介★



「仲間づくりゲーム」

参加者同士で仲間づくりゲームを楽しんだり、グループで競う遊び競争に取り組んだりして、仲良くなった。



「読み聞かせ」

期間中ひな祭りにまつわる読み聞かせを2回行い、制作活動への意欲を高めた。



「ひな人形づくり」

羊毛を活用したひな人形を制作した。思い思いのひな人形をつくって楽しんだ。



「プール遊び」

防災の意識を高めるため、ペットボトルやロープを使った着衣水泳を実施し、楽しみながら、安全に対する意識を高めた。



「桜もちづくり」

桜もちの知識を深め、実際に桜もちをつくることによって、どのような材料でつくられているかを学んだ。



「スタンプラリーパスポート表彰」

北海道青少年教育施設協議会が実施しているパスポートの利用5回賞の表彰を実施した。

企画・運営のポイント

美瑛町内の子供たちを対象に「交流の家では、いろいろな体験ができて楽しい」というイメージを持ってもらえる内容を設定した。

「新しい公共」の視点から、国立大雪青少年交流の家施設業務運営委員が事業の視察、運営協力を行った。

北海道子どもの生活習慣づくり実行委員会の「どさんこアウトメディアプロジェクト」協賛事業として実施した。

事業を終えて(成果と課題)

今年度実施した子供対象事業の集大成として、参加定員を増やして募集し、利用促進に努めた。

ものづくりやスポーツ等の体験活動や読書活動をバランスよく配置し、参加者の多様な要望に応える内容とした。

小学校低学年を対象に、時間に余裕を持たせたプログラム配置としたが、移動や準備に時間がかかる場面があり、プログラムが遅れることがあった。

今後の方向性

利用者確保と施設利用のための普及啓発として、一定の成果を得た。事業内容を工夫し、より効率的に事業を運営することで、今後もよりいっそう利用者の獲得に努めていく。